

豊かな自然、歴史、文化のふるさと  
「ひがししらかわ」で  
“地域医療体験”と“地域の皆様との交流”を



研修日：令和元年8月21日（水）～23日（金）

福島県 県南保健福祉事務所



# 目次

- 「ひがししらかわ」について
  - 研修スケジュール
- 

## 【第1日 8月21日（水）】

- 特別養護老人ホーム ユーアイホーム
- 福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院
- 医療従事者との懇談会

## 【第2日 8月22日（木）】

- 座談会
- 健康教室
- 1歳6か月児健診見学
- 鮫川村国保診療所医師講話
- 事例検討座談会
- KJ法・ディスカッション

## 【第3日 8月23日（金）】

- 研究発表会
  - 昼食会
- 

- 県南地区研修マップ
- 実施要領



# 「ひがししらかわ」について



みなもん(源流の里づくりシンボルキャラクター)



☆「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、塙町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。

## たなくらまち 棚倉町



八溝山を中心とする奥久慈の豊かで美しい自然に恵まれた城下町です。

## はなわまち 塙町



江戸時代に天領として栄え、豊かな自然と歴史に育まれた独自の文化がある町です。

## やまつりまち 矢祭町



東北地方の最南端に位置し、東は阿武隈山系、西は八溝山系に囲まれ、久慈川沿岸に開けた町です。

## さめかわむら 鮫川村



初めて訪れた人も「懐かしい」と感じられるような原風景が残る村です。

## 地域医療体験研修スケジュール

月 日	内 容	場 所、行 程	地 域 名
8月21日 (水)	福島県立医科大学→東白川郡へ		
	施設視察 回診同行	特別養護老人ホーム ユーアイホーム	矢祭町
	利用者との対話体験		
	東白川郡医師会長講話	福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院	塙町
	塙厚生病院長講話		
	医師との懇談会		
	事前研修	湯遊ランドはなわ	
宿泊			
8月22日 (木)	座談会	西山地区集落センター	鮫川村
	健康教室		
	1歳6か月児健診見学	鮫川村保健センター	
	医師講話		
	事例検討座談会		
	KJ法・ディスカッション		
宿泊	棚倉田舎倶楽部	棚倉町	
研究発表会	ルネサンス棚倉		
8月23日 (金)		昼食	
東白川郡→福島県立医科大学へ			





## 特別養護老人ホーム ユーアイホーム



囑託医 木村芳朗 医師

### ◆視察・体験◆

地域医療に従事する木村芳朗医師をはじめ医療介護スタッフの方々と施設の視察、介護食体験、認知症患者さんとの対話体験を行い、医師と医療介護スタッフとの関わりについて学びました。



☆ 白衣を着た私たちも医師として認識され、利用者さんたちを少しでも元気にすることができたのかなと実感できたとともに、白衣を身にまとう覚悟や責任の強さ、そして医師の存在の大きさを改めて実感できた。

☆ 囑託医の木村先生は入所者ご本人やそのご家族に納得して頂けるまで献身的に付き添う様子が印象的だった。医師と地域住民の距離感が近いのも地域医療の特徴だと思った。 (参加者学生より)



日時：8月21日(水) 11:00~14:30  
住所：〒963-5118  
東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷 122  
TEL：0247-46-3385

# 塙厚生病院



星竹敏 東白川郡医師会会長



佐川恵一 病院長



### ◆懇談・視察◆

星会長より、地域医療の問題についての講話を受けました。その後、佐川病院長より東白川地域の医療の現状について説明を受けました。

☆ 星先生の講話で、地域で働くのに向いている医師は自分で学びたいタイプと聞き、自分で学べる人はたとえ地域でも都会と比べて知識で劣ることはないとのことであった。自分で学べる医師でありたいと思った。

☆ この地域での医療の問題点から今後医師に求められることなど、多岐にわたって話を聞くことができた。

(参加者学生より)



日時：8月21日(水) 15:00~16:20

住所：〒963-5493 東白川郡塙町大字塙字大町 1-5

代表者名：院長 佐川恵一

TEL：0247-43-1145

<http://www.hanawa-fkousei.jp>

診療科目：内科・消化器科・循環器科・神経内科・小児科・精神科

- ・心療内科・神経科・外科・肛門科・整形外科・脳神経外科
- ・リウマチ科・アレルギー科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科
- ・皮膚科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科



# 医療従事者との懇談会



佐川恵一 病院長



星竹敏 東白川郡医師会会長



山野辺邦美 副病院長



兼子陽太 整形外科医師



☆座長 福島県立医科大学  
主任教授 大谷晃司先生



発言する学生の様子

☆ 専門医につなぐ治療が重要であり、患者との信頼関係を築いておくことが重要であると知った。また、少しでも不安な時は患者さんのことを考えて怖がらずに先輩に聞くことが重要であるという話を聞き、心にとめておこうと考えた。

☆ 大谷先生を含めた5人の先生が同じテーマに異なる意見をお持ちだったのが印象に残った。

☆ 地域医療では患者さんやそのご家族との関係がより密接であるため、信頼関係を十分に築くことの大切さが納得できた。  
(参加者学生より)

地域医療に従事する医師と医学生が「地域医療」をテーマに課題や問題点等について、討論を繰り広げました。

日時：8月21日（水）16：30～17：30

場所：塙町 塙厚生病院 会議室

自由討論：地域医療に携わる医師の心構え

地域医療の現場の意見 地域で働くメリット 等



## 事前研修



大谷晃司先生より翌日の健康教室のための事前研修として脈拍・血圧測定の説明を受けた後、参加者同士で模擬診察を行いました。

☆ 学生同士で練習した甲斐があって健康教室ではスムーズに血圧測定が行えた。不安解消の意味でも事前に練習できたことはありがたかった。  
(参加者学生より)



日時：8月21日（水）18：30～19：15  
場所：埴町 湯遊ランドはなわ



## 座談会



西山地区区長 根本一美氏



西山地区副区長 関根信一氏



鮫川村 鈴木芳子 保健師

鮫川村西山地区根本区長、関根副区長、鮫川村役場の鈴木保健師より鮫川村や西山区の特徴、鮫川村民の病気の傾向、保健師の立場からの医療機関との連携等について、参加者と意見交換を行いました。



- ☆ 鮫川村は健診の受診率が7割超と高水準であり、健康教室の開催など地域健康の増進に力を入れていることが分かった。寿命から健康寿命の差をいかに支え、遅らせるかが鍵だと知った。
- ☆ ただ健康を守るためだけでなく、住民の方々に生きがいにもなりうる楽しい場を提供している行政の方々、最期を家族で話すよう勧める広報の方々の仕事ぶりは素晴らしいと思った。

(参加者学生より)



日時：8月22日（木）9：30～10：15

場所：鮫川村西山区集落センター

## 健康教室



健康教室として、大谷晃司先生の指導下、鮫川村西山区の住民の健康チェック（血圧測定や問診）を行いました。その後、大谷晃司先生による地域住民向けの健康講座を行いました。



- ☆ 実際の診察の雰囲気を感じられ、モチベーションが大きく上がった。それと同時に医学生に対する期待は大きいものなのだと改めて認識した。
- ☆ 鮫川村の方々はのんびり穏やかな方が多く、血圧測定の際に電池が切れていて焦った私に「ゆっくりでいいよ」と優しく声をかけてくださった。「とても楽しい毎日」と話していて幸福度が地域の方々は高いのかなと感じた。
- ☆ 地域住民の仲の良さを垣間見て、こうして住民とふれあうことが一番地域医療の環境やニーズを理解できると感じた。（参加者学生より）



日時：8月22日（木）13：30～15：00

場所：鮫川村西山区集落センター



## 地域住民との交流・昼食



鮫川村西山区落合集落の住民の方々に地元の食材をふんだんに使った手作り料理をいただきました。また、落合集落住民の方から献立の説明もありました。

☆ ひまわり会の方々が丹精込めて作ってくださってとても美味しかった。

☆ 鮫川村の方々とお話しして来てほしいという思いの強さに感動した。地元の食材を使った料理を振舞っていただき、地元の特産も知ることができ、とても美味しかった。

(参加者学生より)



日時：8月22日（木）12：20～13：15

場所：落合地区公民館

# 1歳6か月児健診見学



鮫川村1歳6か月児健診の現場にて、鮫川村住民親子との交流を図りながら、田中耕治先生の健診の様子を見学しました。



☆ 子どもの機嫌をとりながら意思疎通が難しい中で健診するという相手が子どもであるゆえの難しさをみた。この健診は親の心身の健康をみるためでもあって、悩みや相談を聞いているのも印象的だった。

☆ 保健師さんの重要性を学んだ。1歳6か月といっても成長の度合いや性格は様々なので、いろいろな子がいる中で、その子がきちんと健診を受けられるようにお母さんと協力し子どもをなだめながら対応していてすごいと思った。 (参加者学生より)

日時：8月22日(木) 13:30~14:15

場所：鮫川村保健センター

住所：〒963-8401

東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿189-1

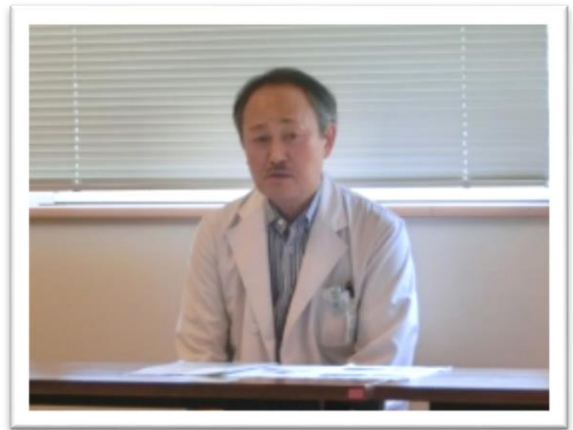
TEL：0247-29-1231





## 診療所医師講話

田中耕治医師の今に至るまでの経緯  
とこれまでの経験、離島での医療につ  
いて等語っていただきました。



鮫川村国保診療所 田中耕治 医師



- ☆ 地域医療の面白さ、やりがいだけでなく、大変だったエピソードをお聞きすることができ、地域の環境や住んでいる人々を理解した上で行動していくことが重要であることがよく分かった。
- ☆ 「間口を広げる」というお話の中で基礎医学の重要性に言及されていたのが印象的だった。きちんと勉強しなそうと思った。
- ☆ 地域医療に従事されている方々のお話は一人一人違って面白く感じた。その中で共通していることは住民との距離の近さがいかに大切かということだと感じた。
- ☆ 担い手が少ないからこそその医療関係者（看護師、保健師含む）の役割の大きさ、各職種間の連携の重要性を肌で感じることができた。

（参加者学生より）

日時：8月22日（金）14：15～15：00

場所：鮫川村保健センター

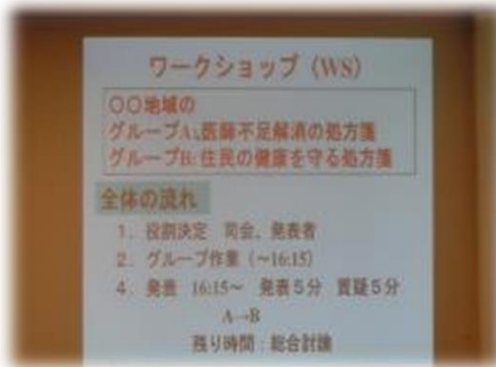
住所：〒963-8401

東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿189-1

TEL：0247-29-1231



# KJ法・ディスカッション



「医師不足解消の処方箋」、「住民の健康を守る処方箋」をテーマに様々な意見を出し合い、発表を行いました。



- ☆ KJ法を用いることで自分だけでは見えてこなかった解決策とその全体像を把握することができた。考えが深まったと感じた。
- ☆ どちらのテーマも共通して地域ぐるみの動きが必要であるということに気付けた。
- ☆ 地域交流をテーマにイベント型で健康を増進しようというアイデアは医師だけでなく、医療従事者のみならず、区長さんなども巻きこんで、地域みんなで連携、想いを1つにして取り組めばきっといい成果が生まれると思った。 (参加者学生より)

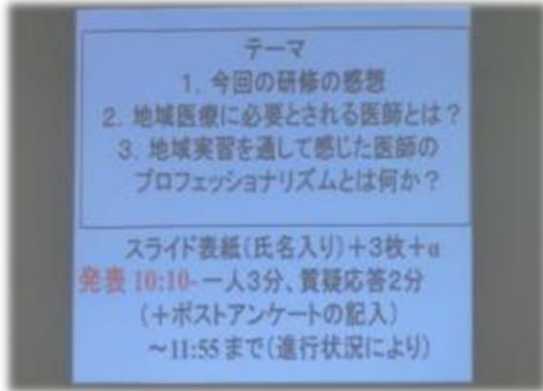


日時：8月22日(木) 15:20~17:10  
場所：鮫川村保健センター健康相談室



# 研究発表会

学生一人一人が「今回の研修の感想」、「地域医療に必要とされる医師とは?」、「地域実習を通して感じた医師のプロフェッショナルとは何か?」をテーマにまとめ、発表を行いました。



河原啓二

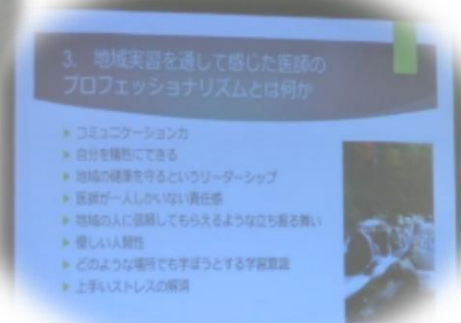
大樂勝弘 鮫川村長

県南保健福祉事務所長



☆ 今回学んだのは医療的な部分というより小さなコミュニティだからこそ感じられる温かさであった。将来医師として地域医療に貢献していくのであれば、技術的な部分はもちろん、「安心」を感じてもらえるような医師でありたいと強く思った。

☆ 2日間同じ施設を回っても違うとらえ方をしたり、感動した言葉が違ったり、それぞれ将来なりたい医師像を持っていたりと同期の意見を聞けてとても刺激的であった。  
(参加者学生より)



日時：8月23日(金) 10:00~12:00

場所：ルネサンス棚倉

# 昼食会

県南保健福祉事務所所長と一緒にルネサンス棚倉にて交流を兼ねた昼食会を行いました。



☆ 地域医療の一番の使命は地域の健康を維持することだと思う。しかしそれは医師1人では不可能とも考える。健康を守るためには地域住民同士がお互いの健康を気遣い、何かあったら医師に話せる環境をつくるのが大事だと思う。住民に信頼され、積極的に健康イベントを呼びかける医師を目指していきたい。

☆ 医療をする上で必要な心持ちや意識、地域医療として重要な幅広く診ることができる能力等を心に留めて今後勉強していこうと改めて思った。また、今回自分の目で見て、食べて、肌で感じたことを、県南を知らない人達に伝えて魅力を知ってもらいたいと思った。

☆ 今回の実習で医師だけでなく、多くの医療従事者の方々さらに一般の方々にお話を伺う機会を持つことができ、地域についての知識を得られただけでなく、自分がどのような医師になりたいか具体的なイメージを持つことができるようになり、非常に有意義な実習となった。

(参加者学生より)



日時：8月23日（金）12：30～13：30

場所：ルネサンス棚倉





# 福島県 県南地区 地域医療体験研修マップ

棚倉田舎倶楽部

西山区集落センター

鮫川村保健センター  
鮫川村国民健康保険診療所



ルネサンス棚倉

塙厚生病院

ユーアイホーム

湯遊ランドはなわ

# 令和元年度地域医療体験研修 実施要領

福島県県南保健福祉事務所

## 1 研修の目的

医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流など体験の場を通して、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらい、将来の地域医療の担い手を育成することを目的とする。

## 2 開催日

令和元年8月21日（水）～8月23日（金）〔2泊3日〕

## 3 対象者

医学生

## 4 募集定員

15名以内

## 5 研修内容

### （1）地域医療現場の見学

東白川地域の診療現場等を見学する。

### （2）地域医療に従事する医師や医療従事者との懇談会

地域医療に従事する医療者から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

### （3）地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深める。

## 6 宿泊場所

東白川郡内宿泊施設等 ※宿泊費は県負担

## 7 集合・解散場所

JR 福島駅、福島県立医科大学 ※借上バスで移動

## 8 問い合わせ・申込先

福島県地域医療支援センター

電話 024-547-1711 FAX 024-547-1715

E-mail [rmsc@pref.fukushima.lg.jp](mailto:rmsc@pref.fukushima.lg.jp)

福島県地域医療支援センターホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045g/chiikiiryoutaikenkensyuu.html>



# 研修参加者（平成22年～令和元年度まで）

県南保健福祉事務所

大学名	参加者数	学年（参加時）						性別	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男性	女性
福島県立医科大学	85	4	2	50	25	4		54	31
東北医科薬科大学	2	1		1				2	
獨協医科大学	8	1	3	1	3			4	4
帝京大学	3		2	1				3	
山形大学	2	2						1	1
秋田大学	4	2	2					2	2
東北大学	1	1						1	
北里大学	1			1					1
東京大学	1						1	1	
群馬大学	1		1					1	
鳥取大学	1				1			1	
山梨大学	1			1				1	
大阪市立大学	1			1					1
(人)	111	11	10	56	29	4	1	71	40

出身都県	福島	東京	栃木	埼玉	茨城	神奈川	大阪	群馬	千葉	宮城	山形	和歌山	岩手	鳥取	島根	青森	秋田	静岡
	44	14	10	8	7	5	4	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1

福島県 地域医療体験研修 検索

Click

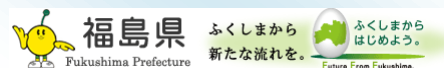
令和元年度

地域医療体験研修事業実績写真集

令和元年11月発行



☆「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、塙町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。



福島県 県南保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5447  
FAX 0248-22-5451

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>